

伊勢志摩サミットについて

1 伊勢志摩サミットの総括について

別紙1-1、1-2のとおり。

2 経済効果等

伊勢志摩サミットに係る経済効果等について、最終試算結果は以下のとおりとなりました。(試算方法は別紙2のとおり)

項目	最終試算結果	中間試算結果
(1)直接的な経済効果 (県内)	約 483億円	約 480億円
(県外)	約 587億円	約 591億円
(合計)	約 1,070億円	約 1,071億円
(2)パブリシティ効果 (国内)	約 1,874億円	約 440億円
(海外)	約 1,224億円	—
(合計)	約 3,098億円	—
(3)ポストサミットの経済効果 (県外観光客数の増加)	約 1,485億円	—
(国際会議の開催件数の増加)	約 4億円	—
(合計)	約 1,489億円	—

3 伊勢志摩サミット三重県民会議の決算見込と基金の設置

(1) 決算見込

平成28年8月末時点における伊勢志摩サミット三重県民会議の決算見込は以下のとおりです。(詳細は別紙3のとおり)

	平成27年度 (確定額)	平成28年度	合計
収入	641,064千円	171,189千円	812,253千円
支出	211,625千円	564,006千円	775,631千円
収支	429,439千円	△392,817千円	36,622千円

(2) 基金の設置(案)

県民会議解散時(決算時)において残余となる金額(現時点、約1億円(※)を予定)を平成29年度以降のポストサミット関連事業の財源とするため、新たに基金を設置したいと考えています。

(※) 約1億円=上記(1)の36,622千円+予備費の66,000千円

① 基金設置の目的

サミットの資産(レガシー)を三重の未来に生かすための事業に要する経費の財源に充てることを目的とします。

② 基金の設置年数

ポストサミット期（次の国内でのサミット開催地が決定するまで）

③ 今後の対応

平成 29 年 2 月定例会会議に基金設置条例案を提出できるよう準備していきます。

4 伊勢志摩サミット三重県民宣言（仮称）について

サミットの成果を次世代に引き継ぎ、誰もが幸せを実感できる三重へとつなげていくことを目指し、県民の皆様が将来にわたってアクティブ・シチズンとしてさらに活躍していただくための「宣言」を取りまとめていきます。

(1) 宣言の骨子案

別紙 4 のとおり。

(2) 県民による議論

宣言をまとめていく議論の過程においては、サミットで活躍していただいた県民の皆さん等に参画いただく予定です。

① 懇話会

ア 一般部門

懇話会「一般部門」として、サミットで活躍した県民代表（20 数名程度）及び新たに公募する県民の方（5 名程度）

イ 若者部門（数名程度）

ウ 行政部門（県内 29 市町）

② 個別の意見聴取

上記に加え、キッズ・モニターアンケートの活用やサミットに関わった障がい者の皆さん等からも意見聴取を行う予定です。

③ その他の意見聴取

SNS（Facebook）による意見聴取も行う予定です。

(3) スケジュール

10 月 県民による議論

骨子確定、宣言文検討

11 月頃（※）宣言発表

（※開催後半年を目途）

伊勢志摩サミットの総括



伊勢志摩サミット
三重県民会議

目次

伊勢志摩サミットの概要 ポストサミットの取組

第1章 伊勢志摩サミットとは.....	3
第2章 公式行事等.....	12
第3章 「伊勢志摩サミット」に向けた三重県の取組の概要.....	29
4つの柱に基づく事業展開	
(1)開催支援.....	35
(2)おもてなし.....	46
(3)明日へつなぐ.....	52
(4)三重の発信.....	57
第4章 ポストサミットに向けて.....	65



第1章

第1章

伊勢志摩サミットとは



伊勢志摩サミット
三重県民会議



G7/8サミットとは？



(サミットとは)

○サミットとは、日、米、英、仏、独、伊、加、露8か国の首脳並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して開催される首脳会議のことである。

ウクライナ情勢を受けたロシアのG8への参加停止により、2014年以降はG7サミットになっている。

(注) G7/G8とは、一般的に首脳会議に参加する7/8ヶ国の総称としての Group of Seven / Group of Eightを意味。

○サミットは国の行事であり、首脳会議をはじめ、首脳の配偶者の方々が参加される配偶者プログラムや、サミットで取り上げられる国際問題を子どもたちの視点で話し合い、首脳陣に提言するジュニア・サミット等の公式プログラムが執り行われるが、国が対応することとなる。

○サミットでは、国際社会が直面する様々な地球規模の課題について、首脳は一つのテーブルを囲みながら、自由闊達な意見交換を通じて、物事を決定。グローバル化が進むと、世界各国の相互依存関係が進み、物事が展開する速度が速くなり、その影響するところも国境を越えて大きくなるが、それらに有効に対処するためには、首脳のリーダーシップが必要。

サミットを開催する国は、開催する年の1月～12月の1年間、サミット議長国となり、議長国は、サミット開催に向けた諸準備や議事進行を行う(日本は2016年1月から議長を務めている)。



過去のサミット



●近年のサミットはリトリート方式により開催（2002年以降）

	開催国	開催地	日本の首相	テーマ
2015年	ドイツ	エルマウ	安倍晋三	ウクライナ情勢を中心とする外交政策、世界経済、エネルギー・気候変動、開発
2014年	ベルギー	ブリュッセル	安倍晋三	ウクライナ情勢を中心とする外交政策、世界経済、エネルギー・気候変動、開発
2013年	英国	ロック・アーン	安倍晋三	世界経済、地域・政治情勢、テロとの闘い、税・マネー・ローンダリング、3T(貿易, 税, 透明性)
2012年	米国	キャンプ・デービッド	野田佳彦	世界経済、エネルギー・気候変動、アフリカ・食料安全保障、アフガニスタン、中東・北アフリカ情勢
2011年	フランス	ドーヴィル	菅直人	日本との連帯、世界経済・貿易、原子力安全、気候変動、インターネット、中東・北アフリカ情勢
2010年	カナダ	ムスコカ	菅直人	世界経済、開発、アフリカ、国際的枠組みのあり方、平和・安全保障
2009年	イタリア	ラクイラ	麻生太郎	世界経済、環境・気候変動、開発・アフリカ、政治問題
2008年	日本	北海道洞爺湖	福田康夫	世界経済、環境・気候変動、開発・アフリカ、政治問題
2007年	ドイツ	ハイリゲンダム	安倍晋三	世界経済、気候変動・エネルギー効率、地域問題・外交政策、アフリカ
2006年	ロシア	サンクトペテルブルク	小泉純一郎	エネルギー安全保障、教育、感染症、世界経済及び貿易、知的財産、開発援助、安全保障及び地域情勢、テロ対策不拡散、人口動態及び社会問題
2005年	英国	グレンイーグルズ	小泉純一郎	世界経済、貿易、知的財産権、気候変動、アフリカ、中東和平、北朝鮮、国連改革
2004年	米国	シーアイランド	小泉純一郎	経済・貿易、地域情勢、安全保障問題、開発
2003年	フランス	エビアン	小泉純一郎	世界経済、持続可能な開発、アフリカ、テロ対策・大量破壊兵器の不拡散・地域情勢
2002年	カナダ	カナナスキス	小泉純一郎	テロ対策、世界経済の成長と持続可能な開発、アフリカ開発

●過去の日本開催（2000年以前）

	開催地	日本の首相	テーマ
2000年	沖縄	森喜朗	IT、開発、貿易、文化の多様性、犯罪、生命科学、環境、地域情勢、グローバル・イシュー
1993年	東京	宮澤喜一	世界経済、貿易、環境問題、開発途上国支援、大量破壊兵器の不拡散、国連の強化
1986年	東京	中曽根康弘	世界経済、貿易、開発途上国支援、食料問題、自然環境保全、テロ対策、原子力
1979年	東京	大平正芳	世界経済、貿易、石油・エネルギー問題、開発途上国支援、難民支援



開催決定時の安倍首相の発言要旨



<平成27年6月5日(金):エルマウ・サミット出発前の羽田空港での会見>

- ・日本の美しい自然、豊かな文化、伝統を世界のリーダーたちに肌で感じてもらえる、味わっていただける場所にしたい。
- ・伊勢神宮は悠久の歴史を紡いできた。たくさんの日本人が訪れる場所で、日本の精神性に触れていただくには大変良い場所だ。G7のリーダーたちに訪れていただき、伊勢神宮の荘厳で凜とした空気を共有できればよい。
- ・大小の島々、美しい入り江。志摩には日本の原風景とも言える美しい自然がある。日本のふるさとの情景を、リーダーたちに肌で感じていただきたい。あの絶景を共に楽しみたい。



<平成27年6月8日(月):内外記者会見>

- ・眼下に広がる志摩の豊かな海は、太平洋から、インド洋までつながっている。アジアやアフリカのたくさんの国々の思いを胸に、日本は、議長国として、世界の平和と繁栄のため、世界のリーダーたちと率直に話し合いたいと思う。



眼下に広がる志摩の豊かな海は
太平洋からインド洋にまでつながっています

- ・伊勢神宮を始め、日本の伝統や文化、美しい自然を、存分に味わっていただきたい。日本の「ふるさと」の素晴らしさを、世界に発信する機会にしてまいりたい。



伊勢志摩サミット(G7)



過去2回の地方開催サミットとの違い

- ★典型的な「地方」で開催される初のサミット
国、県、民間の役割分担
- ★首脳の日本出入国が開催県以外となる初のサミット
歓迎、警備
- ★1泊2日のサミット
各種プログラムの制約＝工夫の可能性

伊勢志摩サミットに参加した首脳の顔ぶれ

日本：安倍首相（61歳）	5回目
アメリカ：オバマ大統領（54歳）	8回目
イギリス：キャメロン首相（49歳）	7回目
フランス：オランド大統領（61歳）	5回目
ドイツ：メルケル首相（61歳）	11回目
イタリア：レンツィ首相（41歳）	3回目
カナダ：トルドー首相（44歳）	初参加
EU：トウスク欧州理事会議長（59歳）	2回目
ユンカー欧州委員会委員長（61歳）	2回目

※年齢は、開催時点の年齢。

※アウトリーチには、チャド、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ、パプアニューギニア、ベトナム、ラオス、国際連合、IMF、世界銀行、OECD、アジア開発銀行が参加。

伊勢志摩サミットに参加した首脳配偶者

日本：安倍昭恵夫人
 ドイツ：ヨアヒム・ザウアー首相夫君
 カナダ：ソフィー・グレゴワール＝トルドー首相夫人
 EU：マウゴジャータ・トウスク欧州理事会議長夫人



志摩観光ホテル ザ ベイスイート 屋上庭園



志摩観光ホテル 庭園



伊勢神宮



伊勢志摩サミットの概要（G7伊勢志摩首脳宣言）



世界経済の下方リスク、国際秩序に対する一方的な行動による挑戦といった喫緊の課題に対し、自由、民主主義、基本的人権の尊重、法の支配といった普遍的価値に立脚したG7として、連携して国際社会の取組を主導していくことで一致。

G7伊勢志摩経済イニシアティブ

世界経済、貿易、インフラ、保健、女性、サイバー、腐敗といった具体的な分野におけるG7としての行動をとりまとめた「G7伊勢志摩経済イニシアティブ」に合意。G7が世界経済を牽引するとの明確な姿勢を発信

・ 世界経済

世界経済、金融規制改革、税と透明性、貿易、質の高いインフラ「質の高いインフラ投資の推進のためのG7伊勢志摩原則」、保健「国際保健のためのG7伊勢志摩ビジョン」、女性、サイバー、腐敗対策

・ 政治外交

テロ・暴力的過激主義、難民、中東、北朝鮮、ウクライナ・ロシア、海洋安全保障、軍縮・不拡散、国連安保理改革

・ 気候変動・エネルギー・環境

気候変動、エネルギー、資源効率・3R

・ 開発

2030アジェンダ、アフリカにおける課題への対処



中部国際空港～伊勢志摩





志摩観光ホテル

ザ クラシック



6月7日
リニューアル
OPEN

ザ ベイスイート



ザ クラブ





国際メディアセンター (IMC)



● 国際メディアセンター (IMC)

- 伊勢志摩サミットを取材する報道関係者のための施設。
- 三重県営サンアリーナに設置し、サンアリーナの既存施設とサンアリーナ近くに建設されたアネックスで構成。
- IMCには、放送設備（マスターコントロールルーム、テレビ・ラジオ放送局用ブース、編集室等）を有する国際放送センター（IBC）に加えて、共用ワーキングスペース（約800席）やダイニングスペースが設置された。

（出典：伊勢志摩サミット公式ホームページ

<http://www.g7ise-shimasummit.go.jp/media/imc.html>



（出典：伊勢志摩サミット公式ホームページ

<http://www.g7ise-shimasummit.go.jp/media/imc.html>

● 国際メディアセンターアネックス



第2章 公式行事等



伊勢志摩サミット
三重県民会議



伊勢神宮訪問①



首脳プログラム

G7首脳による初めての伊勢神宮訪問！





伊勢神宮訪問②



首脳プログラム

伊勢神宮内宮参集殿でのお出迎え！





伊勢神宮訪問③



首脳プログラム

G7首脳による記念植樹！

小学生20名（伊勢市、志摩市、鳥羽市、南伊勢町、大紀町、玉城町、度会町）が植樹のお手伝いをしました！





伊勢神宮訪問④



首脳プログラム



伊勢神宮は、「平和への祈り」、「自然と人との共生」、「多様性への寛容や交流」、「日本の伝統文化の継続性」を示す場

メルケル独首相「日本の強さの源泉を見た。シンゾウありがとう」
他の首脳からも、期間中、何度も安倍首相に訪問に係る賛辞と感謝の言葉あり



首脳会議①



首脳プログラム

首脳会議(於:ザ クラブ)





首脳会議②



首脳プログラム

ワーキングディナー



少なくとも**269品**の県産食材、**42品**の県産品等が活用されました！**乾杯酒**は、「作」「半蔵」「滝自慢」など**すべて県内の酒蔵のもの**。また、乾杯の杯は**萬古焼**、テーブルは**尾鷲ひのき**。



首脳会議③



首脳プログラム

アウトリーチセッション





配偶者プログラム①



伊勢神宮訪問



相可高校の生徒が食事を振る舞い、配偶者と交流しました！



昼食会(於:杉風荘)



テーブルには尾鷲ひのきが活用されました！



配偶者プログラム②



ミキモト真珠島訪問

海女85名等によるお出迎えや
伊勢音頭保存会・「伊勢っ子」41
名と伊勢音頭を踊って交流してい
ただきました！





配偶者プログラム③



配偶者プログラム



記念植樹

地元小学校児童がサポートをしました！





配偶者プログラム④



配偶者プログラム

国際メディアセンター訪問



IMCを訪問し、多数の県民と交流いただきました！





県産食材等の活用



首脳会議



伊勢海老クリームスープ



鮑のポワレ

配偶者プログラム



少なくとも計269品目の県産食材等、計42品目の県産品が活用されました！

すべての首脳の食事で松阪牛を使用した料理が提供されました！



松阪牛フィレ肉

志摩観光ホテルの伝統料理「黒鮑ステーキ」！



首脳会議の乾杯酒の作・半蔵・瀧自慢！問い合わせが殺到し、すでに完売の状況！



首脳会議円卓(尾鷲ひのき)

IMC



熊野地鶏尾鷲塩炙り焼き



三重の地魚握り寿司



フルーツカクテル

写真提供：外務省

贈呈品



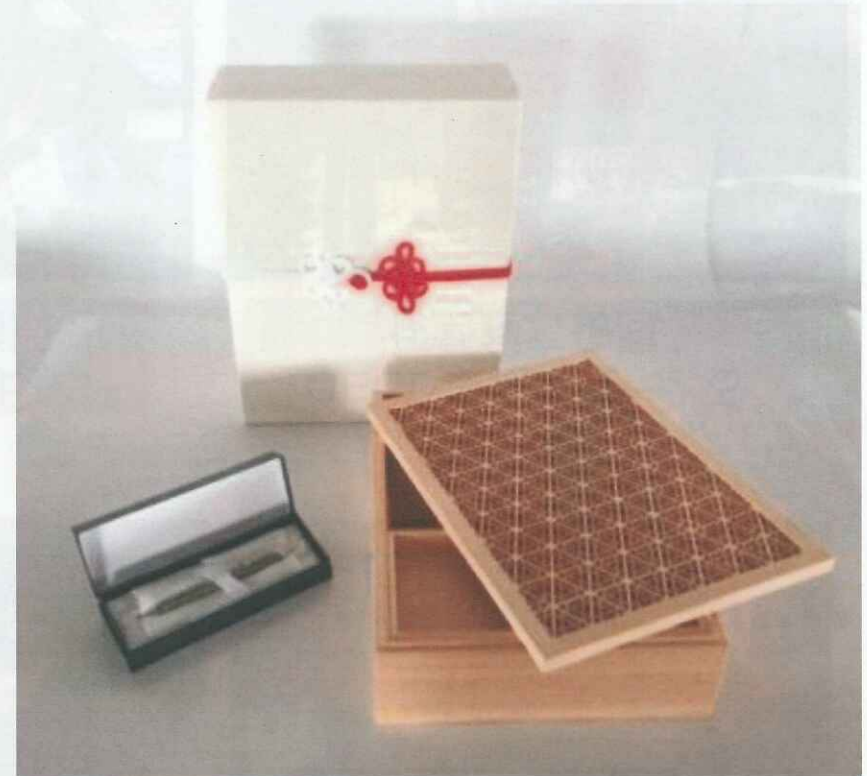
○G7首脳等への贈呈品

カップ&ソーサー(ペア):三重ナルミ(志摩市)が制作

カップ&ソーサーは、三重ナルミ(志摩市)が、サミット会場である賢島と首脳
の訪問先である伊勢神宮をジャパンプルーでハンドペイントして制作。

これらの品を伝統工芸である伊勢木綿とともに三重県産スギ材の箱に入れ、
伊賀くみひもで結び、松阪木綿の風呂敷で包装。

○アウトリーチ国首脳等への贈呈品

文箱・真珠付きボールペン

文箱は、三重県産のヒノキとスギを使い、伝統技術である組子で「輪つなぎ」という吉祥文様により制作。真珠付き
ボールペンは、三重県で真珠養殖を世界で初めて成功した御木本幸吉氏に由来。

これらの品を伝統工芸である伊勢紙とともに箱に入れ、
伊賀くみひもで結び、伊勢木綿の風呂敷で包装。



各国首脳等と県民の交流～「世界との絆づくり」～



ベトナム首相の伊勢神宮訪問



フック首相から、日本の伝統を肌で感じられる素晴らしい場所との感想。



ベトナム閣僚による松阪市訪問



英国首相同行プレスによる
皇學館大学生との交流



IMF専務理事による
ミキモト真珠島訪問



OECD事務総長による
伊勢神宮訪問





国際メディアセンター (IMC)



三重情報館

延べ**12,729名**の報道関係者が来場！



展示のほか、実演・体験を多数の県民の方に行っていただきました！



ダイニングでは、156種類のメニューのうち**152種類**において県産食材が活用されました！

IMCアネックスの公開

5/30～
6/10に
公開

県内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒等**2,424名**、こどもふるさとサミットの参加者及び三重の高校生サミットの参加者**103名**、一般県民等**1,040名**、計**3,567名**が見学しました。





アメリカ・オバマ大統領の広島訪問



現職の米国大統領として初となるオバマ大統領の広島訪問は、戦没者を追悼し、「核兵器のない世界」を目指す国際的機運を再び盛り上げる上で、極めて重要な歴史的機会となった。

広島と伊勢神宮は、日本あるいは世界の歴史において、「前向きな未来志向」という共通点を持ち、広島訪問に先立ってのG7首脳による伊勢神宮訪問は大変意義深かった。

